

今年度は、防府市から 約8,000円の助成*が あります！

※現金が支給されるわけではありません。

防府市では、がん検診の受診促進を目的として、下記の方を対象に同封している「がん検診無料クーポン券」を配布しています。今年度対象となる昭和60年度生まれの女性は、このクーポン券を利用すると、無料で市の乳がん検診が受けられます。

あなたの健康のために、がんを早期に発見し、早期に治療できるよう、がん検診を受けてください。

今年度の無料クーポン券対象の方
昭和60(1985)年4月2日～
昭和61(1986)年4月1日生まれ的女性
※令和8年4月20日現在、防府市に住民票のある女性

乳がん検診（マンモグラフィ）は助成がない場合、約8,000円と高価な検査です。
ぜひこの機会に受診しましょう。

検査費用	約8,000円
助成金	約8,000円
自己負担金	0円 無料

無料クーポン券の有効期限

令和9年3月31日まで

例年、受診期限が近付くと大変混み合います。
お早めにご予約・ご受診ください。

乳がん検診の流れ

Step 1.

医療機関もしくは集団検診(検診車)を選択

Step 2.

医療機関で受診を希望する

☎ 下記、実施医療機関に
直接予約

下記リストをご覧ください。

集団検診(検診車)
で受診を希望する

☎ 保健センターに電話予約
またはオンライン予約
(0835)24-2161

申込フォーム➡



受診日や時間帯、女性職員による検診の提供の有無、
必要持参品など、詳細は予約時にご確認ください。

Step 3.

✚ 受診 (問診・マンモグラフィ)

予約した日時に医療機関、または集団検診会場に
行き、問診や乳房のレントゲン検査(マンモグラフィ)を受けます。

Step 4.

📄 市から届く結果を確認する
(約1か月後)

実施医療機関一覧

おがさまきレディースクリニック	0835-26-1107
三田尻病院	0835-22-1173
山口県立総合医療センター	0835-22-4411
阿知須同仁病院(山口市)	0836-65-5778
阿知須共立病院(山口市)	0836-65-2711

※検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)

40歳を過ぎたら 乳がん検診

マンモグラフィなら自己触診では
みつからないがんも見つかる



防府市健康増進課（保健センター）

〒747-0805 防府市鞠生町12番1号
TEL 0835-24-2161 FAX 0835-25-4963

近年、日本人女性の 9人に1人が乳がんにかかると言われています。^{※1}

もう他人事とは思えない！乳がんは女性が一生のうちで1番かかりやすいがんです。

乳がんは40～60代女性の がん死亡原因ナンバーワン^{※2}

日本では、年間1万5千人以上の女性が乳がんで亡くなっています。40～60代はとくに乳がんにかかりやすい年齢です。

セルフチェック
だと遅いかも...

誰がなっても
おかしくない
ですよ



自己診断では 見つからないケースがたくさんある

乳がんは自己触診だけでは見つけることが難しく、早期発見のためにはマンモグラフィによる検査を定期的に受けることが大切です。

※1 出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）2020年全国集計値

※2 出典：人口動態統計（2023年）

マンモグラフィは こんな検査です。

乳がん検診のマンモグラフィっていったいなにをするのか、不安に思っていないですか。

実際にどんな検査なのかを知っておけば、検診に行く時も安心！

マンモグラフィは、 いわゆるおっぱいの レントゲン

マンモグラフィは乳房X線とも呼ばれる、おっぱいのレントゲンです。
プラスチックの板と撮影台に乳房を挟んで上からレントゲンを撮ります。



5秒くらい、じっとして...
撮影終了！

1cm以下のがんも見つけられる 優れた画像検査法

マンモグラフィは、乳がん検診方法として効果があることが確認されている検査法で、早期の乳がんの検出に有用です。

検診で「異常あり」となった場合は
その後必ず精密検査を受けてください。^{※3}

精密検査はマンモグラフィの追加撮影、超音波検査、細胞診、組織診などで、これらを組み合わせて行います。

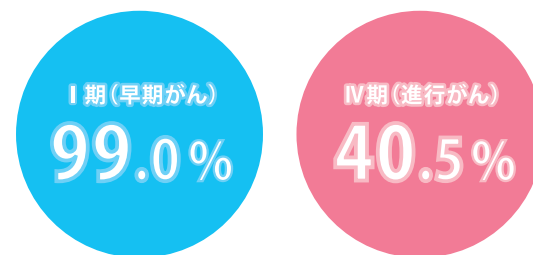
※3 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つからない場合もあります。

このリーフレットは、がん検診受診率向上＜希望の虹プロジェクト＞が作成しました。

早期のがん^{※4}の段階で 治療すれば、 95%以上が治ります。^{※5}

正しい知識を持って、専門の先生と一緒に定期的にチェックしていくことが大切です。

生存率



乳がん検診は2年に1度
必ず受診してください

多くのがんは、2年に1度の検診で早期発見できます。ただし、中には急激に大きくなるものもあるため、乳房の状態を日ごろから意識し、変化がないかを確認するようにしましょう。しこり、乳房のひきつれ、乳頭から血性の液がでる、乳頭の湿疹やただれなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。



※4 ここでいう「早期」とは、がんの進行度を0～IV期に区分した病期分類（TNM分類）におけるI期を意味します。（IV期に近いほどがんが進行している状態です）

※5 ここでいう「治る」とは、診断時から5年後に生存している状態を示します。
出典：2014-2015 年院内がん登録5年生存率報告におけるネット・サバイバル(純生存率)